

弘前広域都市計画事業 駅前地区土地区画整理事業

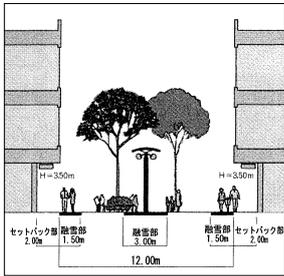
受賞機関 弘前市

はじめに

弘前市は青森県の南西部、津軽平野の南部に位置し、市内をJR奥羽本線、国道7号、同102号が通過する、人口約17万7千人、面積約274km²の内陸のまちであり、自然環境にも恵まれた藩政時代を色濃く漂わせた街並みである。

しかし、駅前地区は都市基盤整備の立ち遅れによる公共公益施設の不足と土地利用効率の低下が市街地としての発展を著しく阻害していた。

このため弘前市では、土地区画整理事業により、JR弘前駅前を市の表玄関にふさわしい街として、また中心市街地として、将来の都市機能に対応できるよう、居住環境の改善と商業機能の充実を図ったものである。



歩行者専用道路標準横断面図



駅前広場

事業概要

事業の名称：弘前広域都市計画事業
駅前地区土地区画整理事業

施工面積：29.7ha

施工期間：昭和54年度～平成14年度

総事業費：36,100百万円

平均減歩率：公共16.82%（実質11.61%）

主な公共施設：都市計画道路 5路線

歩行者専用道路 2路線

街区公園4箇所・広場1箇所

駅前広場11,700m²

自転車駐車場（地下）1,700台

事業の特徴

当該地区における各種公共施設の整備に当たり、



歩行者専用道路



自転車駐車場（地下）

「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」及び「まちづくり総合支援事業」の導入と地区計画制度の活用により、地域の自主性を活かした、個性豊かなまちづくりを推進したものである。

特に、四季を通して賑わいのある街並み形成を図るため、歩行者専用道路を機能的に配置し、無散水融雪施設の設置、景観にも配慮した電線類の地中化、買い物や散策が楽しめるよう沿道の一階部分の壁面後退など、快適な歩行者空間の創出に努めている。

また、駅前広場の整備により交通結節機能を強化するとともに、歩行者専用道路と地下道で連絡させ歩行者の利便と安全に配慮し、さらには、駅前周辺の放置自転車の解消や都市環境の向上を図るため、駅前広場地下に自転車駐車場を設置している。

本事業の完了により地域はもちろん、新しい弘前の顔として、街並みも一新され、日々熟成が進んでいるところである。

今後は、人、産業、環境をキーワードに、より住み良い弘前の実現に向け、地域住民とともに良好な都市環境の形成と保全に取り組んでいくものである。